



LNG 50th

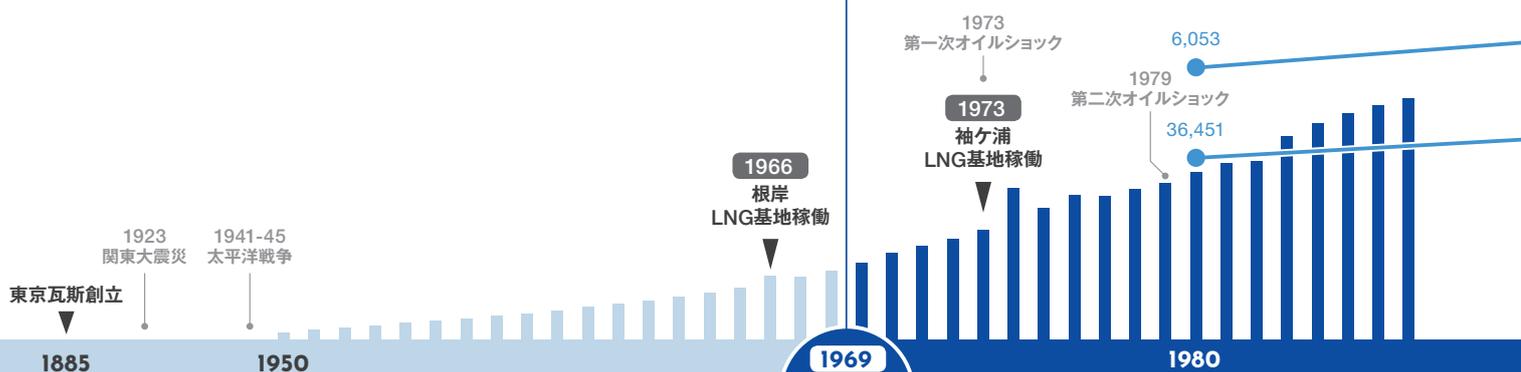
これまででも、これからも 「エネルギー・フロンティア」 として成長を続けていきます

東京ガスグループは約130年にわたり、ガスの安定供給や様々な挑戦を通じて、
経済発展とお客さまの豊かな暮らしを支えるとともに、当社グループの企業価値創造を実現してきました。
電力・ガスの小売りが全面自由化されましたが、電力・ガスを含めて、
最適なエネルギーシステムをセットで提案・供給できる「機会」と捉え、
引き続き非連続の改革(これまでにない大胆な事業変革・抜本的な組織構造改革)を進めつつ、
「できること」として具体的に新たな価値を創造=東京ガスグループならではの“GPS×G”を展開し、
2020年代の発展・飛躍を確実なものにしていきます。

■ ガス販売量(億m) ■ 電力販売量(億kWh)

※お客さま件数・ガス販売量ともに2002年度までは個別、2003年度以降は連結の数字
※2011年度以降のガス販売量には、トーリングによる自家使用分・LNG販売を含む

石炭・石油の時代 ◀ ▶ LNGの時代



1885～ 第1章 都市ガス事業の確立期

- 灯り(ガス灯)での事業開始
- 家庭向けの都市ガスの普及

1945～ 第2章 敗戦からの復興期

- 太平洋戦争の壊滅的打撃からの事業再生
- 戦後日本の復興・経済成長とともに、家庭用の都市ガス利用が拡大

1969～ 第1章 国内事業の拡大期

- LNG基地、パイプライン網の整備により、日本の高度経済成長に貢献
 - 17年をかけて、首都圏550万件の熱量変更作業が終了
- P04参照

ガス利用の歴史



ガス灯



ガスカマど



ガスストーブ

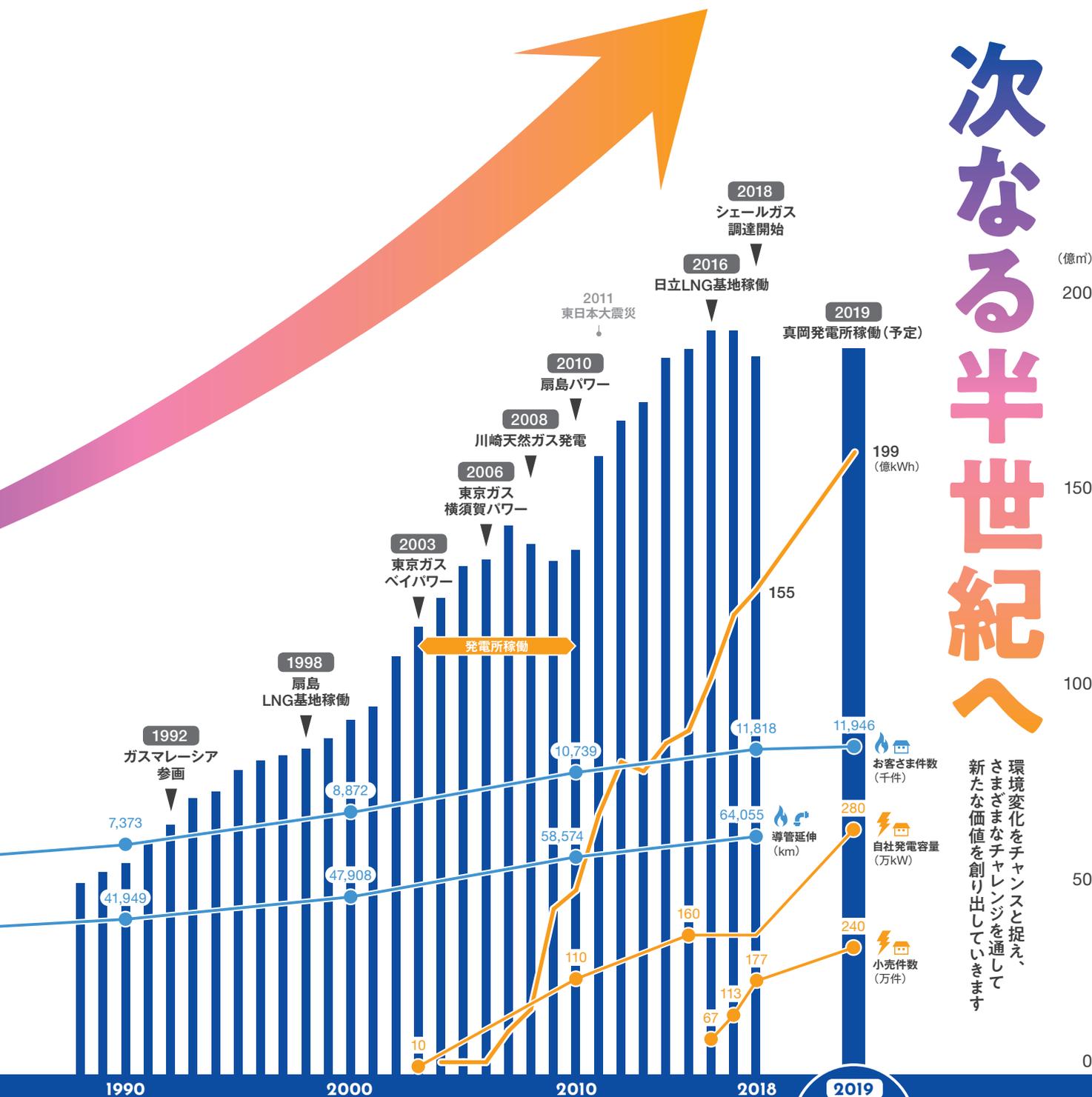


ガス自動炊飯器

蔵前国技館
初的气体冷暖房システム旧新宿地域
冷暖房センター天然ガス
コージェネレーション初号機

次なる半世紀へ

環境変化をチャンスと捉え、さまざまなチャレンジを通して新たな価値を創り出していきます



2000~ 第2章 既存の枠を超える飛躍期

- 地域冷暖房やコージェネレーションシステムが登場。これまでの家庭用に加えて、業務用・工業用にもガスを拡大
- グローバルな総合エネルギー企業を目指す
- 電力自由化に伴い、電力事業に参入(2016年に小売参入)
- 将来の低炭素社会を見据えた天然ガスの高度利用



ビビットコンロ



発電所



水素ステーション



家庭用燃料電池「エネファーム」



豊洲スマートエネルギーセンター